

市民の思いは…

「戦争をする国」めざす
安倍内閣はコワイ…

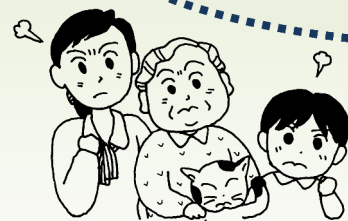
国保料や介護保険の負担が重い
消費税上がって、もう限界…

子育て、教育に、もっと
お金がかからないようにして

11月16日・市議選で問われることは…



日本共産党
市議会議員
かくたに敏男



①憲法をこわす安倍自公政権に 鳥取市から「レッドカード」を

国民多数の「反対」の声にそむいて、集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を強行した自民、公明。鳥取市から怒りの声を発信しましょう。

②流れを変えて

くらし・子育てを応援する市政へ

消費税増税、年金削減、物価高、医療費の負担増…。市民のくらしは本当にたいへんです。いまこそ、鳥取市政が、市民のくらし、子育てを応援するために、全力でがんばるときです。



©カクサン部!



党書記局長・参議院議員

山下よしき

共産党の若きホープ、鳥取大学農学部出身

日本共産党演説会

●10月13日(月・祝)
午後2時開会
●鳥取市文化ホール

●1952年生まれ ●日本福祉大学卒 ●医療ソーシャルワーカー ●市議7期

「くらしと平和のために」の初心貫いて
かくたに敏男

鳥取民報

2014年9月号外 連絡先●鳥取市吉方 168-8 TEL(0857)23-6674 FAX24-4491 日本共産党の見解をご紹介します。

“最近の共産党には共感する
ことが多いけど、チョット?…”

——という声にこたえて



市議会議員
かくたに敏男



県議会議員
市谷とも子

とも子と敏男が語る日本共産党

「共産党は何でも反対?」
——市民にとっていいものには賛成、ダメなものには反対、

とも子 安倍内閣の暴走への怒りとともに日本共産党に対する期待をひしひしと感じます。

とくに集団的自衛権行使容認の「閣議決定」後、「憲法9条を守ってほしい」という声が党派をこえて寄せられます。

敏男 「自民も、民主もダメ。今度共産党を選択肢に…」という思いは広くあります。

とも子 一方で、「共産党は何でも反対でイヤ」という人も少なくありません。

とも子 でも私たちは、市民の利益にとって良いことには賛成し、悪いことに反対しているわけで、当局の提案に全部反対しているわけではないんです。

敏男 鳥取市議会でも、私たちは市が提案した議案の83%に賛成しています。

とも子 でも、国保料や公共料金の値上げなど、暮らしの負担を増やすことには、キッパリ反対しています。

とも子 国会では、日本共産党の賛成で、半分以上の法案は「全会一

致」で採択されています。

敏男 他の議員は、市長や国がやることには「賛成」、市民の請願には「反対」という人がほとんどです。

「他の議員ともっと力をあわせてほしい」の声も…

とも子 県議団は、市民の願いを実現するために具体策を提案し、党派をこえた共同を大事にしています。

市民との共同をひろげ、それを力に、議会の他会派との協力がつくられることも少なくありません。

敏男 子どもの医療費助成を拡大することでも、地域でお母さんたちと署名運動をすすめ、その力で議会に働きかけて、中学卒業まで広げることができました。

とも子 中小企業団体のみなさんから、「もっと県内企業への支援を」という要望を受けて、「企業立地補助金」を県内中小企業も使いやすいものに改善するよう、県議会で提案しました。他の議員の賛同も得て、実現できました。

私も、「一人ひとりの声と願いが、政治を変える原動力」ということを実感しています。

敏男 だから、議会では少数派で

も、市政や県政を動かすことができます。

市庁舎問題をどう見るか

とも子 市庁舎問題も、ひきつづき大きな問題ですね。

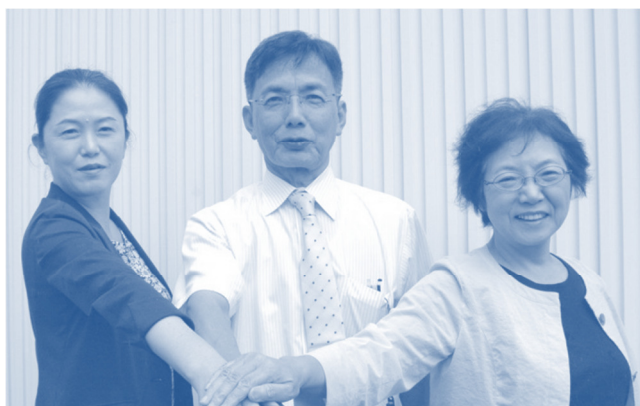
敏男 一番の問題は、住民投票で「現在の場所耐震改修を」という市民の意思が示されたのに、市長や与党議員などがそれを踏みにじって、「新築移転」を進めようとしていることです。

とも子 市庁舎問題では、市政のあり方が問われています。

今度の市議選は、住民の意思を大切にするのは、どの党・どの人かが鋭く問われることになると思います。

敏男 ぜひ勝利して、3議席を確保し、市民の願いにこたえて暮らしを応援する市政へ、流れを変えるために全力でがんばります。





市民と力をあわせて市政を動かす

日本共産党のモットーは「市民こそ主人公」。いつでもどこでも、市民と力をあわせて、市政を動かすために力をつくす党です。



日本共産党

負担を押しつける、市民いじめの“パートナー”?!——市長と与党議員

市長は、「市民は都市経営のパートナー」（鳥取市行財政改革大綱）などといっています。しかし、市長や与党議員が手を組んでやっていることを、見てみると…。

県内一高い国保料、連続値上げ——

●収入200万円の3人家族で20万円

1人当たりの国保料
(昨年の調停額、県資料)

鳥取市	93,103 円
米子市	85,706 円
倉吉市	84,513 円
境港市	84,513 円
県平均	86,915 円

与党議員などの賛成で、H22年、23年には、連続して10%近い値上げが強行されました。収入の1カ月分以上が国保料で消えてしまいます。
国保料が高い一番の理由は、国庫負担が4分の1に減らされたからです。国庫負担を2元にもどせば、15億円増えます。

●厳しい取立て、差し押さえは倍増

国保滞納による
差し押さえ件数
H23年122件
連続値上げ後…
H24年276件

※自営業の売掛金を差し押さえ。
※差押調書も交付せず、養老保険を差し押さえ。
※営業用の軽自動車を「売ればいい」と暴言。
※市の「徴収課」には警察官OBも配置。

▼相次ぐ市民サービスカット、負担増

※市の公園・スポーツ施設・体育館で、小中高校生、65歳以上は無料だったところが、50～500円の有料に。
※簡易水道8%値上げ。
※人間ドックの全項目検査が「毎年」から「1年おき」に。

※市立図書館の全項目検査が「毎年」から「1年おき」に。

▼支所の職員は半減、地域の市民サービスが低下

支所正職員の人数		
支所	H16年	H26年
国府	42人	20人
福部	28人	18人
河原	47人	22人
用瀬	33人	18人
佐治	26人	18人
気高	44人	21人
鹿野	30人	19人
青谷	42人	22人
合計	292人	158人

貯めこんだ基金は123億円

サービスカット、負担増、職員削減…

※使用料手数料見直し	21億9千万円
※補助金の削減	25億5千万円
※職員・給与の削減	73億6千万円

(市行財政改革大綱成果概要より)



次はコレ!

市民のくらしの頼りになるパートナー——日本共産党の実績

●学校耐震化に道ひらく

日本共産党が議会できりかえし要求してきた小中学校の学校耐震化が、H27年度までに完了する計画になりました。



●中学3年まで子どもの医療費助成を広げる

30年以上前からお母さんたちと運動をすすめ、中学3年までの医療費助成を実現。自己負担(通院1回530円、入院1日1200円)の撤廃もめざします。

●少人数学級の実現

小学1、2年で30人、中学1年で33人学級を実現。その他の学年も35人以下とするなど、一気に広がっています。

●障がい者就労支援施設への物品発注を30%増

障がい者就労支援施設に仕事や物品の発注を増やすよう、実態調査もおこなつて要求。市は26年度の発注を前年度よりも30%増やしました。

●税金が安くなる制度をちゃんと知らせないと追及

不況で納税も大変。「取り立てばかり考えないで、税金の減免制度を市民に知らせなさい」と議会で発言。市は減免制度についてホームページに掲載。
納税緩和措置についても追及すると、徴収課で掲示・配布をはじめめました。

3議席で切実な願い実現に力つくします

●高すぎる国保料、1世帯1万円の引き下げを

さらに、国にたいして「1人1万円の引き下げを求めます。」

●介護保険料・利用料の負担軽減を

「保険料の値上げはきつい」「払っているのに、利用できない」の声にこたえます。



●保育料の引き下げ。小中の全教室にエアコンを

「子育てするなら鳥取市」といわれるよう、子育て支援を強めます。

●住宅リフォーム助成制度の継続、予算の拡充を

一昨年は申し込みが263件もあったのに、抽選で108件だけ。予算を増額し、継続を。

財源はあります……

市が毎年2億円ためてきた財政調整基金(自由につかえる貯金)が、H24年度で15億円に。5年で18倍にも増えています。